

◇予防接種の種類と接種時期◇

※接種間隔や定期予防接種として接種できる期間を間違えると、任意接種扱い（自費）になるだけでなく、十分な効果が得られなくなる可能性がありますので、しっかりと確認してスケジュールを立てましょう。

対象の病気	ワクチン 【ワクチンの種類】	定期予防接種として 接種できる期間	標準的な接種期間		接種 回数	接種間隔
ロタウイルス	ロタウイルスワクチン 【経口生ワクチン】	ロタリックス(1価) 生後6週0日後から 24週0日後まで	ロタリックス(1価) 1回目は生後2か月～ 15週未満		2回	ロタリックス(1価) 27日以上あける
		ロタテック(5価) 生後6週0日後から 32週0日後まで	ロタテック(5価) 1回目は生後2か月～ 15週未満		3回	ロタテック(5価) 1回目と2回目、2回目と3回目をそれぞれ27日以上あける
小児の肺炎球菌	沈降20価(15価) 肺炎球菌結合型 ワクチン 【不活化ワクチン】	生後2か月以上 60か月(5歳)未満	生後2か月～7か月未満	初回	3回 (※注1)	27日以上
			生後1歳～1歳3か月未満	追加	1回	1期初回終了後60日以上あけて、 かつ、1歳以上
B型肝炎	B型肝炎 【不活化ワクチン】	生後～1歳未満	生後2か月～9か月未満	初回	2回	1回目と2回目は27日以上あける
				追加	1回	1回目から139日以上あける
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) 不活化ポリオ (IPV) インフルエンザ菌 b型(Hib:ヒブ) 感染症	DPT-IPV-Hib (五種混合) 【不活化ワクチン】	生後2か月以上 90か月(7歳6か月)未満	生後2か月～7か月未満	1期 初回	3回	20日から56日あける
			1期終了後6か月～ 1年6か月後	1期 追加	1回	1期初回終了後6か月以上あける
	DT(二種混合) 【不活化ワクチン】	11歳以上13歳未満	11歳～12歳未満	2期	1回	
結核	BCGワクチン 【注射生ワクチン】	生後～1歳未満	生後5か月～8か月 (4か月児健診時に集団接種)		1回	
麻しん(M) 風しん(R)	麻しん風しん混合 (MR)ワクチン 【注射生ワクチン】	1歳以上2歳未満		1期	1回	
		小学校入学前年度の 1年間 かつ5歳以上7歳未満		2期	1回	
水痘 (水ぼうそう)	水痘ワクチン 【注射生ワクチン】	1歳以上～3歳未満	1回目は 生後1歳～1歳3か月未満		2回	1回目から2回目は3か月以上 (標準的には6か月～12か月)あける
日本脳炎	日本脳炎ワクチン 【不活化ワクチン】	生後6か月以上 生後90か月 (7歳6か月)未満	3歳～4歳未満	1期 初回	2回	1回目から2回目は6日以上あけて、 標準的には28日までに接種
			4歳～5歳未満	1期 追加	1回	1期初回終了後6か月 (標準的には1年)あける
		9歳以上13歳未満	9歳～10歳未満	2期	1回	
ヒトパピローマ ウイルス 感染症	HPVワクチン 【不活化ワクチン】 ※女子のみ	12歳になる年度の初日 ～	13歳になる年度にある女子 (中学校1年生に相当)		2回	シルガード9(9価・初回15歳未満)※注2 2回目は1回目から6か月あけて接種。
		16歳になる年度の 末日にある女子 (小学6年生から 高校1年生に相当)			3回 (※注3)	サーバリックス(2価) 1回目と2回目は1か月あけて、 3回目は1回目から6か月あけて接種。 ガーダシル(4価)、 シルガード9(9価・初回15歳以上)※注2 1回目と2回目は2か月あけて、 3回目は1回目から6か月あけて接種。

※注1:小児用肺炎球菌ワクチンは、1回目を接種した月齢により、合計の接種回数が異なります。詳しくは9ページでご確認ください。

※注2:シルガード9(9価)は、1回目を接種した年齢により、合計の接種回数が異なります。詳しくは15ページでご確認ください。

※注3:3回とも同じワクチンで行います。

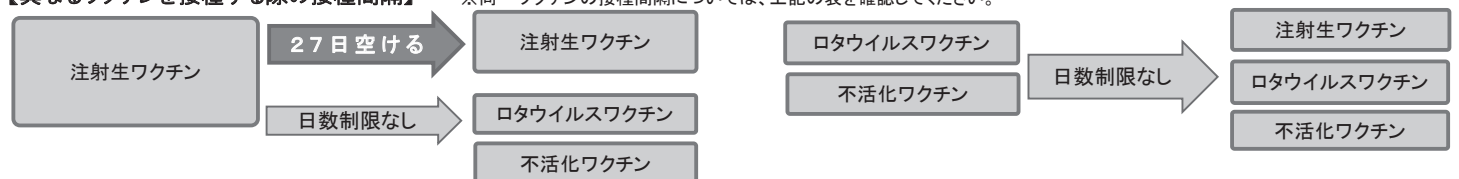
【補足】

接種間隔は、接種の当日は日数に含めず、翌日から数えます。

6日空ける→接種日の1週間後の同じ曜日以降、27日空ける→4週間後の同じ曜日以降に接種できます。

【異なるワクチンを接種する際の接種間隔】

※同一ワクチンの接種間隔については、上記の表を確認してください。



◇注射生ワクチン:BCG 麻しん風しん混合(MR) 水痘(水ぼうそう) ◇ロタウイルスワクチン:ロタリックス・ロタテック
◇不活化ワクチン:DPT-IPV-Hib(五種混合) B型肝炎 小児用肺炎球菌 DT(ジフテリア破傷風) 日本脳炎 HPV

※法改正などにより変更になることがあります。